

会計名	歳入	歳出	差引額
住宅新築資金等貸付事業	2,022万円	2億6,726万円	△2億4,704万円
霊苑事業	1,137万円	1,098万円	39万円
国民健康保険事業（事業勘定）	42億2,322万円	42億116万円	2,206万円
（診療施設勘定）	7,207万円	7,524万円	△317万円
介護保険事業	43億4,527万円	40億9,267万円	2億5,260万円
後期高齢者医療事業	6億337万円	6億213万円	124万円
特別会計合計 （ ）は前年度決算額	92億7,552万円 (90億5,699万円)	92億4,944万円 (90億5,726万円)	2,608万円 (△27万円)

特別会計
特定の事業を行う場合、また特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理するために、条例により設置している会計です。住宅新築資金等貸付事業および、国民健康保険事業（診療施設勘定）を除く会計は黒字でした。

公営企業は、民間企業のように利用料金等を財源に、公共の利益を目的に経営する事業で、市では次の**5つの公営企業会計**を運営しています。

水道事業

令和4年度の給水件数は10,718件で、年間有収水量は2,330,809tでした。給水区域内において水道未普及地域解消事業として、2地区において実施設計業務が完了し、送配水管工事およびポンプ場築造工事を行いました。また、収支差引は584万円の赤字決算となりました。

収益 10億5,422万円		費用 10億6,006万円	
営業収益	5億7,476万円	営業費用	10億824万円
給水収益	5億7,421万円	給与費	9,027万円
その他	55万円	県水受水費	1億8,330万円
営業外収益	4億7,917万円	減価償却費	5億2,701万円
特別利益	29万円	その他	2億766万円
		営業外費用	5,158万円
		特別損失	24万円

美榛苑事業

平成22年10月1日より指定管理者による経営に移行し、令和4年度中も指定管理による経営となりました。また、収支差引は指定管理者からの納付金と一般会計からの補助金を受けましたが、2,267万円の赤字決算となりました。

収益 2,222万円		費用 4,489万円	
営業外収益	2,222万円	営業費用	4,284万円
一般会計補助金	38万円	美榛苑経営費	0万円
指定管理者納付金	2,000万円	減価償却費	4,284万円
雑収益等	184万円	資産減耗費	0万円
		営業外費用	205万円
		支払利息等	45万円
		雑支出	160万円

市立病院事業

令和4年度の入院患者数は、延べ37,261人（1日平均102人）、外来患者数は延べ92,182人（1日平均379人）でした。また、収支差引は4億1,574万円の黒字決算となりました。

収益 42億1,536万円		費用 37億9,962万円	
医療収益	29億4,366万円	医療費用	36億2,995万円
入院収益	17億3,629万円	給与費	21億5,366万円
外来収益	10億5,698万円	材料費	5億4,097万円
その他	1億5,039万円	経費	6億592万円
医療外収益	12億7,165万円	減価償却費	3億2,265万円
特別利益	5万円	資産減耗費	127万円
		研究研修費等	548万円
		医療外費用	1億6,956万円
		特別損失	11万円

介護老人保健施設事業

令和4年度の入所者数（短期入所者を含む）は延べ24,046人（1日平均65.9人）、通所者数は延べ2,440人（1日平均10.2人）となりました。また、収支差引は1億1,791万円の赤字決算となりました。

収益 3億7,169万円		費用 4億8,960万円	
事業収益	3億4,852万円	事業費用	4億7,094万円
介護報酬収益	2億9,163万円	給与費	3億3,331万円
施設利用料収益	5,637万円	材料費	2,968万円
その他	52万円	経費等	8,726万円
事業外収益	2,273万円	減価償却費	2,055万円
特別利益	44万円	資産減耗費	14万円
		事業外費用	1,757万円
		特別損失	109万円

下水道事業

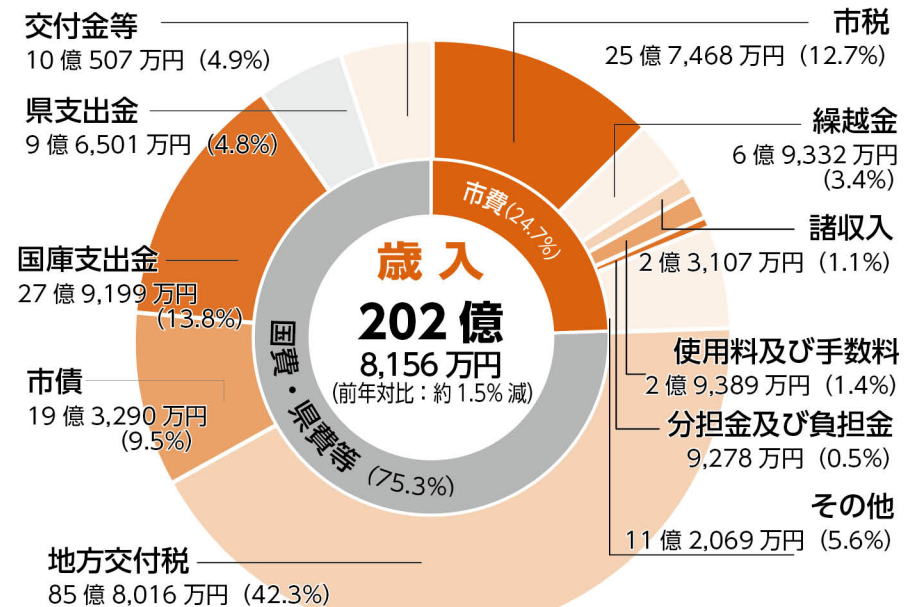
令和4年度の年間有収水量は1,689,863tでした。下水道ストックマネジメント計画に基づき、榛原天満台地区管渠更正工事およびマンホール蓋更新工事を行いました。また、収支差引は1,010万円の黒字決算となりました。

収益 7億6,727万円		費用 7億5,717万円	
営業収益	2億5,080万円	営業費用	7億644万円
下水道使用料	2億1,684万円	給与費	2,428万円
その他	3,396万円	維持管理経費	1億7,616万円
営業外収益	5億1,647万円	減価償却費	4億8,742万円
特別利益	0万円	その他	1,858万円
		営業外費用	5,050万円
		特別損失	23万円

令和4年度

宇陀市の決算と財政状況報告

令和4年度の宇陀市の決算がまとまり、9月の議会定例会で承認されました。皆さんから納めていただいた税金や負担金、国県からの補助金などの収入がどの程度で、どのように使われたのかをお知らせします。

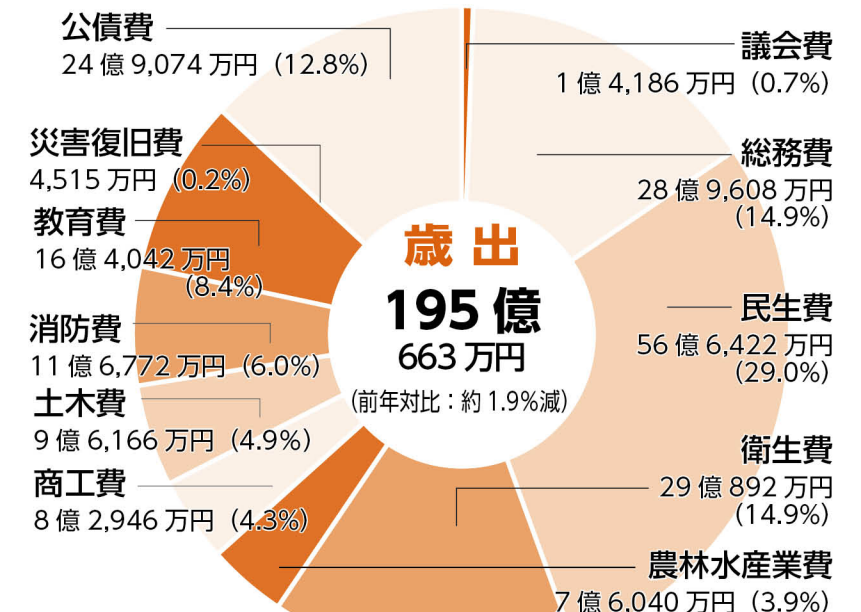


【一般会計 歳入】

歳入では、市税や使用料及び手数料などが増加したものの、地方交付税や市債などの減少により、前年度決算額に比べて約1.5%の減となる202億8,156万円となりました。自主財源となる繰入金や繰越金などが増加し、依存財源である国庫支出金などが大きく減少したことにより、自主財源の割合は前年度と比べて3.6ポイント増の75.3%となりました。

【一般会計 歳出】

歳出では、物件費や補助費などが増加したものの、人件費や扶助費などが減少したことにより、前年度決算額に比べて1.9%の減となる195億663万円となりました。



宇陀市の家計の状況は？



財政状況は、様々な指標から見ることで初めて分かります。家計と同じで収支（資金繰り）と借入に注目することが重要です。

宇陀市のR4年度財政状況

収支では、経常的な収入（例えば、給料）で経常的な支出（例えば、生活費）がまかなえているか？「経常収支比率・財政力指数」、会計が赤字になっていないか？「実質赤字比率・連結実質赤字比率」、借入（例えば、毎年のローン返済や残高）が多すぎないか？「実質公債費比率・将来負担比率」がポイントとなります。

経常収支比率 堅調

財政にゆとりがあり、様々な状況に柔軟に対応できるか？

財政力指数 努力

自主的な収入だけで、どれだけ賄えるか？

財政調整基金 改善

急な事態等に備える基金（貯金）はあるか？

R4年度 94.6%
(R3年度類似団体平均 88.5%)

市税、普通交付税などの経常的な収入のうち、人件費や公債費、扶助費などの行政サービスを維持するために必要な経費へ充てた割合。
この比率が高くなるほど投資的事業（道路や公共施設の整備など）に充てるお金が不足し、財政にゆとりがなくなります。

R4年度 0.28
(R3年度類似団体平均 0.38)

市の人口や面積、税率などに応じ、国が定めた方法で計算した、その市の基準的な収入と支出のバランスを表した財政の体力を示す指標です。
数字が大きいほど財源にゆとりがあり、1に近づくと自主財源で運営できていることとなります。

R4年度 18.3%
(10%程度が望ましい)

予期しない収入減や不時の支出増加に備える財政調整基金の残高が市の標準的な財政規模（市の標準的な一般財源の収入額）に対してどの程度の比率を保有しているかを示す割合です。

令和4年度は、収入では地方税が増加したものの、地方交付税や臨時財政対策債の減少による影響が大きく、支出においては人件費が減少したものの、物件費が増加したことから昨年度に比べて1.8ポイント上昇しました。

宇陀市の市債残高はどれくらい？
合計 321億 1,926万円
前年度より約11億円減少！

主な内訳
▶一般会計…… 229億 3,697万円
▶下水道事業…… 33億 4,117万円
▶水道事業…… 29億 6,260万円
▶市立病院事業…… 24億 5,519万円
▶介護老人保健施設事業…… 4億 1,886万円

標準財政規模とは、市が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模のことを言います。

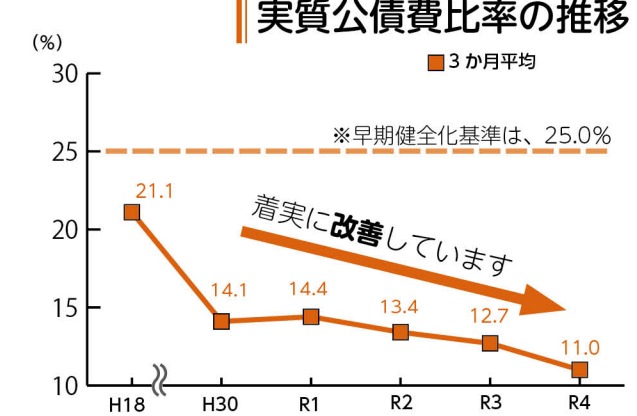
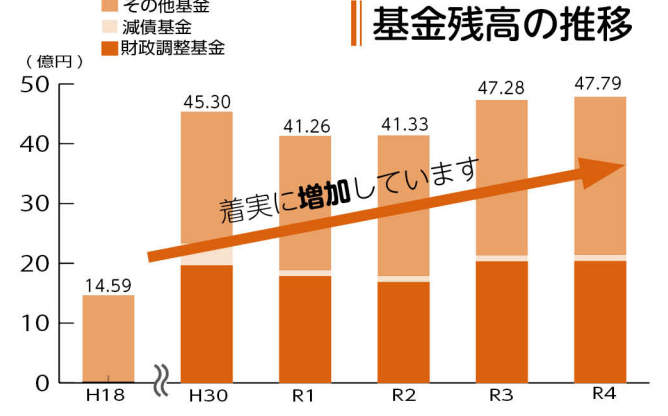
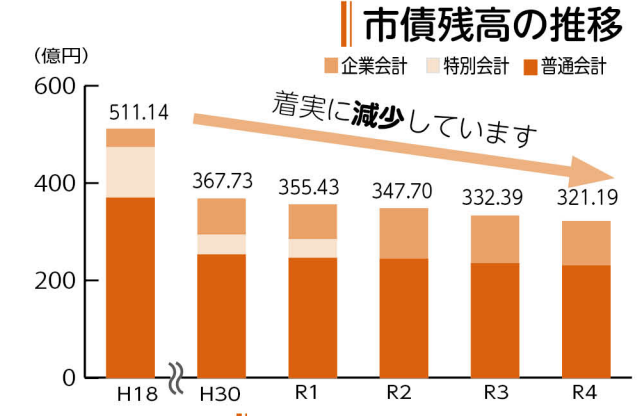
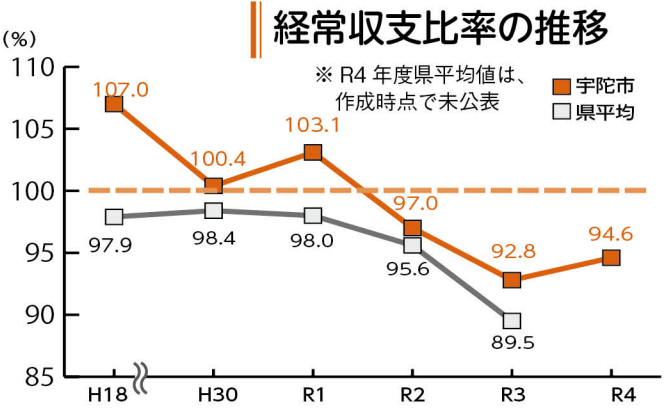
令和4年度は、財政規模が縮小され、かつ繰入額より積立額が多く基金残高が増えたため、前年度に比べて0.8ポイント増加しました。

財政健全化判断比率

重症警報の脱却に向けて前進

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、市の財政健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします。財政健全化判断比率とは、住民に向けて財政状況を公表するために設定された全国統一の指標で、市議会への報告も義務付けられており、指標の内容によっては財政上の制約や健全化計画を策定、実行する必要があります。各指標の「早期健全化基準」、「財政再生基準」については、いずれの数値についても、より小さいほうが財政的に良好であると言えます。「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」については、黒字の場合は「▲」で表示されます。公営企業については、「資金不足」が生じていないことが最良です。

種類	指標名	指標の概要	令和4年度の宇陀市の決算数値 ※宇陀市における早期健全化基準（イエローカード）・財政再生基準（レッドカード）
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計、特別会計（住宅新築資金等貸付事業・霊苑事業・土地取得事業）の赤字額の比率	▲ 4.20%【黒字】（黒字額は、対前年度比0.81ポイント増加） ※（イエローカード）13.17%、（レッドカード）20.0%
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計（一般会計・特別会計・企業会計）の赤字額の比率	▲ 29.70%【黒字】（黒字額は、対前年度比4.49ポイント減少） ※（イエローカード）18.17%、（レッドカード）30.0%
	実質公債費比率	標準財政規模に対する当該年度の借入金（借金）の返済額等の比率で3か年平均	11.0%で健全化基準をクリア（対前年度比1.7ポイント改善） ※（イエローカード）25.0%、（レッドカード）35.0%
公営企業	将来負担比率	標準財政規模に対する負担すべき将来の債務（全会計・一部事務組合の負担義務のある残債、土地開発公社の債務保証、負担義務のある職員退職金等）の比率	84.2%で健全化基準をクリア（対前年度比1.9ポイント上昇） ※（イエローカード）350.0%
	資金不足比率	各会計における事業の規模に対する資金の不足額の比率	各公営企業会計について資金不足は生じていません。



地域医療体制構築事業

第1次医療機関が減少した地域において医療体制を確保することを目的として、移動診療車の購入等を行いました。



宇陀市人権交流センター 周辺整備事業

宇陀市人権交流センターの利用者や近隣住民の車両通行の安全性の向上を目的として、市道古市場守道線の道路改良を行いました。



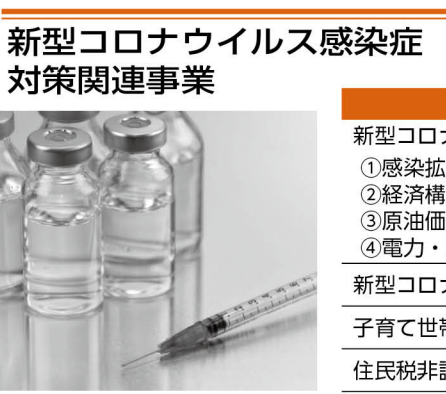
宇陀の魅力体験施設 整備事業

新しい生活様式への対応および移住・定住の促進を目的として、宇陀市の良さを生かした「生活・働く」スタイルを体験することができる魅力体験施設の整備を行いました。



公園長寿命化事業

（平成様原子供のもり公園 森の館空調設備更新）
来園者の安全性および快適性の向上を目的として、老朽化した森の館内空調設備の更新を行いました。



新型コロナウイルス感染症対策関連事業

感染症への対策や市内事業者への支援のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用して様々な事業を行いました。

主な事業	決算額
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	5億 73万円
①感染拡大の防止	(1億 3,163万円)
②経済構造の転換・好循環	(9,052万円)
③原油価格・物価高騰対策	(1億 3,903万円)
④電力・ガス・食料品等価格高騰対策	(1億 3,955万円)
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	1億 5,030万円
子育て世帯等臨時特別給付金事業	3,658万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	2億 5,708万円

R4年度 に取り組んだ 主な事業

主にこんな事業に取り組んだよ

特集
市政トピックス
うだちから
まちのわだい
みんなで子育て
病院・ウェルネス
お知らせ
掲示板
うだちゃん

奈良サテライトオフィスうだ オープンセレモニー開催

問 商工産業課 (☎82・5874 / IP ☎88・9075)

奈良サテライトオフィスうだ「SOUDA」は、地域経済の活性化および高度な通信技術の活用による新たな起業・就労機会の拡大を図り、市内への移住促進を目的に9月25日にオープンしました。

この施設は、市と連携協定を締結している大和信用金庫の旧榛原支店を改修整備しており、館内にはコワーキングスペース・ブーススペース・オフィススペースのほか利用者の皆さんが自由に利用できる食堂・交流スペースなどがありWi-Fiや電源なども自由にお使いいただけます。それぞれ定期や少し立ち寄り利用も可能となっておりますので、お気軽にご利用ください。



▲コワーキングスペース ▲うだテラス ▲うだ Cube

「SOUDA Slogan」
未来を「想像」して種を時く。
水をやり、芽がでて、蕾をつける。
季節がめぐり、また新たな実りへと紡がれる。
この場所で共に「創造」し、あたたかいコミュニティが育っていく。
そんな未来に、自分たちの想いをのせて。
ソウゾウしよう、宇陀の未来
サテライトオフィスうだ



▲テープカットを行いました。



さんとぴあ榛原からの お知らせ

問 さんとぴあ榛原
(☎85・2525 / IP ☎88・9095)

〜寒い時期を暖かい施設で過ごしませんか〜
日中の気温が下がり、高齢者にとつては体調を崩しやすい寒い冬がやってきます。
これからの冬場には、ヒートショックという、急激な温度差により血圧が変動し、心筋梗塞や脳梗塞、めまいといった健康被害が起ります。
家庭内では、気温の低いトイレや浴室、脱衣所でのリスクが高まります。そのためにも居室ごとの温度差をなるべく少なくすることが大切で、空気が冷え込む朝方のトイレや夜の脱衣所などは、特に気を付ける必要があります。
また、冬場は水分補給の回数が少なくなりがちです。特に、暖房器具を使った部屋で長時間過ごしていると、冬場でも脱水症状を引き起こすリスクが高まります。脱水は脳梗塞や心筋梗塞の引き金にもなり得るため、注意が必要です。冬場でも、どの渴きを感じる前に、コップ1杯の水を飲むようにしましょう。おススメは温かい白湯で、身体を温める効果もあります。

さて、要介護認定を受けておられる方は、寒い時期を暖かい施設で過ごしてみませんか。
当施設には、医師や看護師などの医療スタッフが常駐し、急な体調変化にも対応することが出来ます。また、入所中は入所者の心身の機能が低下しないように理学療法士や作業療法士などの専門スタッフがハビリを行います。そして、食事は、管理栄養士による栄養バランスに配慮した、温かい食事を提供しています。リクレーション、入浴や身の回りのお世話は、ベテランの介護スタッフがサポートします。
お問い合わせをお待ちしています。



宇陀市介護老人保健施設 さんとぴあ榛原

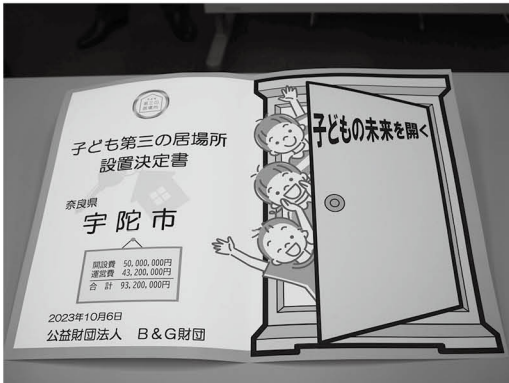
B&G財団

「子ども第三の居場所」 助成決定書授与式 が行われました

問 子ども未来課 (☎82・2236 / IP ☎88・9088)

市では、今年5月から社会福祉法人大和育成園において、子ども第三の居場所事業「宇陀ほっとスペースつどい」を実施しています。今後、より多くの子どもに居場所を提供するため、来年6月新たな施設を開設することとなりました。

それに対し、B&G財団より、開設費として5,000万円の助成を受けることとなり、10月6日(金)、B&G財団常務理事 朝日田智明氏より金剛市長に助成決定書が手渡されました。



▲子ども第三の居場所設置決定書

式典には、金剛市長、鴻池副市長、田淵教育長、山本市議会議員、上田福祉文教委員長、大和育成園理事長など関係者14人が出席し、市長から「子どもをまん中に据えた取り組みが非常に重要と考えている。地域全体で連携して運営できるように支援していきたい」と挨拶しました。

また、今後B&G財団からは、次年度以降、運営費の助成も受けることが決定しています。



▲左より B&G 財団常務理事 朝日田智明氏、金剛市長

広報うだがスマホでいつでも見られる

マチイロ マチを好きになるアプリ

App Store / Android アプ Google play

危機管理課

災害は、いつなんどき起こるかわかりません。近年身近で災害が多く発生しており、災害への事前の備えが大切です。

手話への扉 とびら 第40回

指文字はこちらから

【危機】両手の指を折り曲げ、上下に重ねて胸を2回たたく。
【管理】右手の曲げた2指の指先を目に向けて左右に振る
【課】指文字の「か」
【防】胸前から手のひらを前に向けて立てた左手を押し出す。
【災】立てた左手2指の上へ右手3指で「く」を描く。

特集
市政トピックス
うだちから
まちのわだい
みんなで子育て
病院・ウェルネス
お知らせ
掲示板
うだチャン